

下妻市定例教育委員会（令和6年10月28日）会議録

1. 開催日時	令和6年10月28日（月） 午後3時00分 開会 午後3時35分 閉会
2. 開催場所	下妻市役所本庁舎 4階 会議室4-3
3. 出席委員	教 育 長 中山 均 教育長職務代理者 赤荻 由美 委 員 青木 明美 委 員 齊藤 修一 委 員 高野 剛
4. 委員以外 の出席者	教育部長 横瀬 哲彦 教育部参事 圓崎 佳江 学校教育課長 國府田 聡 生涯学習課長 佐久間 秀樹 図書館兼公民館長 岡本 卓也 学校教育課補佐 板橋 孝子 学校教育課係長 高崎 みゆき
5. 議事録 署名人	高野 剛委員
6. 協議事項 及び研修	（1） 諸般の報告事項について
7. 議事の 大要	議事の大要
発言者	発言内容
教育長	10月の定例教育委員会を始めます。今回の議事録署名人は、高野委員さんをお願いします。それでは、諸般の報告。指導課から。
参事	【指導課から報告】 ○各学校の研究発表会について ○新人総合体育大会について
教育長	学校教育課から。
学校教育課長	【学校教育課から報告】 ○元学校医への表彰について ・平間敬文先生と浅田節郎先生 ○下妻市教育委員会事務評価委員会について ・2回開催（10月3日、10月25日）
教育長	生涯学習課から。
生涯学習課長	【生涯学習課から報告】 ○下妻市文化祭について ・44団体817名の方が参加予定 ○市村緑郎先生の彫刻展について ○退職校長会による下妻の歴史講座について
教育長	公民館、図書館から。
図書館兼公民館長	【公民館・図書館から報告】 ○千代川公民館のスマホ市役所による施設予約について（12月3日から） ○第1回図書館協議会の開催について ○図書館通信11月号の発行について

教育長	では、何かご質問等ございましたら、お願いします。赤荻委員さん。
赤荻教育長職務代理人	先ほどの公民館のスマホ予約は、ラインですか。
図書館兼公民館長	そうです。ラインのスマホ市役所から入り、そこからの予約になります。
教育長	その他、何かご意見ありますか。2日間の学校訪問等のことでも結構です。 赤荻委員さん。
赤荻教育長職務代理人	<p>本日の学校訪問では、校長先生がたが学校経営を熱心にくださっていて本当に感動しました。また、先生方が生き生きと授業されてる様子を見ることができ、大変優秀な先生方だということも、お話を伺えました。いつまでも下妻市の学校で働きたいと思っていただけるような支援や、環境づくりをしていかないといけないと感じました。子供たちの元気な姿は、先生たちの元気な姿と相乗効果で、本当に生き生きとして元気に学習されてる様子が見られて、久しぶりに学校訪問できて良かったなと思いました。</p> <p>今回の学校訪問は、議員の先生方と一緒させていただいているんですが、けれども、コミュニティースクールのことについてのご質問もありましたが、先日、帝京大学の先生が書かかれているものについて、ご紹介したいと思います。コミュニティースクールの役割が大きく三つあるかと思うんですが、その一つ、校長先生が作成した学校運営に関する基本方針を承認するという点に関して、非承認というのがこれまでであったのかという調査がありましたが、非承認というのは今までないということでした。改善してほしい、修正してほしいというのは、6.5%ぐらいで、建設的なものの、こうしたらもっとよくなるんじゃないかというものだったという調査結果だったということでした。また、学校運営に関して、教育委員会または校長に対し意見を述べるができるという部分に関しては、同じく6.5%ぐらい。そのほとんどが施設とか設備に関するもので、また、校長先生に対しては、特に地域の人材の活用に関する意見ということでした。また、教職員の任用の意見の申出については、調査では6.6%ぐらいだったということで、ほとんどが部活動の指導や、若い教員に対する応援というような内容ということでした。今回、議員さんの質問に対しても、校長先生が非常にわかりやすく、地域の皆さんと目標を一つにして、まず意見のすり合わせをするんだということ、よくお互いに意見を出し合って良いと思うものについては、積極的に取り上げるということをご説明されて、非常に理解してくださっていて、コミュニティースクールの立ち上げに協力してくださっているということがわかったので、今後、学校側からそういう意見など出てきたときには、私どもにもフィードバックしていただけるようお願いしたいと思いました。</p>
教育長	コミュニティースクールについては、生涯学習課から何かありますか。
生涯学習課長	下妻市で本格的に、早々に立ち上げることができましたが、学校の先生や地域の皆様のお力の賜物と思います。各学校によっては、それぞれの課題もありますので、学校の先生方と地域の皆様と、保護者の皆様と、車の両輪で進んでいただければ、より充実するのかなと思います。研修等で、文科省のマイスターの方などにお話をお伺いすると、やはりいろいろな事例があり、様々な課題はあるようで、解散した例もあるそうですので、いきなりスピードをあげるのではなく、少しずつすすめていけばいいのかなと思います。まだ各学校とも模索状態だと思うので、校長先生、学校の先

	生方にご協力頂きながら、生涯学習課でいろいろ段取りをしてすすめている状況です。
赤荻教育長職務代理者	生涯学習課さんの立ち上げるまでの段取りなどを、きちんと校長先生たちも理解されているということ、その橋渡しのところもしっかりされているということを、今回、校長先生のご説明でよくわかりました。
教育長	方法論というか、何かをやらなくてはならないという、そういうイベントとかコンテンツにだけいってしまわないよう、そこは危惧しているところです。学校と地域で、子供を、人づくりをしようというところを見失わないようにと思います。方法論はいろいろあるわけで、地域性もありますし、それぞれの地域で考えてもらうというところを大事にしながら、大事な目的を見失わないようにしていきたいなと考えています。それから、課長も言っていたように、急ぎ過ぎないということも大事だと思います。一歩ずつというところを大事にしていきたいと考えています。では、青木委員さん。
青木委員	久しぶりに、全校を回る学校訪問となって、この何年間の間に、本当に学校が変わったんだということを実感しました。タブレットなしではもう授業はなっていないということを改めて感じました。小さい子も、授業の中で、それを上手にやっていましたが、いっぽう、小さいうちは、しっかり書く、読むということも、しっかりやって頂きたいなということも感じました。また、若い先生の力というのはすごいなということも改めて今日感じました。若い先生が生き生きとやっていらして、先輩の先生たちが温かく見守っていて、この状況で続けてくださるといいなと思います。また、特に英語に力を入れられているところを見て、英語は必要だと改めて感じました。
教育長	ICT の教育環境面で、学校教育課から。
学校教育課長	コロナの影響で、楽しみを少し奪われたかなというところもありましたが、反面、ICT が進んだということでは、タブレット 1 人 1 台端末など、5 年で取り組むことが、1 年で終わって、非常に加速しました。結果として、子供たちは、今まで鉛筆とノートと消しゴムという学用品で学んでいたのが、タブレットがその道具ということで、タブレットがあるから勉強ができるできないではなくて、タブレットを道具として使いこなして、結果として、今までできなかった、ノートをみんなで見せ合うなどということ、画面上でできるようになったなど、できることが増えています。また、板書も先生が一つ一つ書かなくても、タブレットから電子黒板に移したりとか、だいぶ変わっていると思います。そういう良くなったところは、これが維持できるように、学校教育課としても、努力していきたいなと考えています。今日もいろいろ活躍してもらっていた ICT 支援員も、引き続き、子供たちの学力向上や、先生方の支援につながるように、学校教育課ではハード部分をやらせていただいて、指導課の方にはソフト部分で、教員の指導力の向上など、やっていければと思っています。間もなくタブレットも、入替えを迎えます。非常にコストのかかるものですが、継続していきたいと思っています。
教育長	指導課から教員の授業力の向上について。
参事	タブレットに絡んでなんですが、先ほど青木委員から、読み書きなどを、小さい子にやらせてほしいというお話もありましたが、タブレットを使い始めの、最初のときに、まず使ってみようという合い言葉で、使い始めたところだったんですが、先生たちは、いろいろ使う中で、こういうふうにすると効果的で、こういうようにするのだったら別に使わなくてもいい、

	とか、小さい学年だと、こういう場合では、実際にしっかりと力を込めて文字を書かせたいとか、どんな場面で使うのは効果的で、そうじゃなくてというのを、少しずつ見極められるようになってきました。本当の効果的なタブレットの使い方というのを、いろいろ研究しながら進めるかなと思っています。先ほど報告にも挙げさせていただきましたが、東部中もICTを効果的に使いつつ、先生方の授業改善をするということで、発表会も計画されておりますので、そういったところでモデルケースとして市内で発表をしてもらいながら、市内全体がさらにうまく活用して、子供たちの力がついていくような方向になっていくといいなと思っています。
教育長	齊藤委員さん。
齊藤委員	学校訪問では、子供たちがとにかく落ちついて生き生きと生きている姿を見られて本当に良かったと思っています。学校訪問は、校長先生、教頭先生、教務の先生などには、少し時間をとってもらうことにはなっていますが、学校の素の姿を見せてもらえばいいということで、学校にできるだけ負担をかけたくないと思っています。学校訪問すること自体は、とってもいいし、学校の様子も見れるし、聞けるしというところでは、これからも続けた方がいいのかなと考えています。先の定例会で、ラーケーション制度を茨城県でも取り入れてやっていくというような報告がありましたが、下妻市では実際にラーケーションをとったという事例はあるんですか。
参事	数は正確に把握してないんですが、学校によっては何十件とか。
齊藤委員	それは、夏休み期間中ですか。
参事	平日です。
齊藤委員	平日に。親子と一緒にやってですね。こういう計画でということで。事後報告でもいいんだろうけど。あまりいないのかと思ったのですが。
参事	たくさんあります。何十件も。少ないところもありますが。
齊藤委員	さっきの大宝小の話聞いたときに、これは平日でも、ラーケーションという形で行ってできるのかなと思ったので。すばらしいですね、その制度は。活用されているってことですね。
参事	件数はまた取りまとめてみたいとは思いますが、7月に学校を訪問させていただいた時点でも、かなりの数がありました。
教育長	高野委員。
高野委員	訪問については、全てが新しく見えて、進んでいるという実感を得られました。20年後にはまた違う姿を見れるような教育をしていってもらえればと思いました。
教育長	では、最後に事務局から。
学校教育課長	【事務局から報告】 ・次回の教育委員会について
教育長	以上をもちまして、定例の教育委員会を終了します。